

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8450
 住 所 東京都千代田区二番町8番地8
 氏 名 株式会社イトーヨーカ堂
 代表取締役 山本 哲也 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社イトーヨーカ堂		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市中原区新丸子東 3-1135-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	50	各種商品卸売業
主たる事業 の内容	衣料品、住居関連商品及び食品を取り扱う総合小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	8,784	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO ₂)	(実) 18,474	(実) 17,117	(実) 16,017	(実) 15,677	(実) 17,920
	(調) 18,024	(調) 16,691	(調) 15,550	(調) 15,551	(調) 17,483
削減率		(実) 7.3 %	(実) 13.3 %	(実) 15.1 %	(実) 3.0 %
		(調) 7.4 %	(調) 13.7 %	(調) 13.7 %	(調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	売場面積×営業時間				原単位等の単位	t-CO ₂ /m ² ・百万h
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)		
排出量原単位等の値	47.34	44.35	41.95	41.83	45.92	
活動量の値	390.224785	385.947732	381.77	374.71	-	
排出量原単位等の削減率		6.3 %	11.4 %	11.6 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	・川崎店他照明設備のLED化を実施、更に運用対策の最適化の試みを推進、7%強の削減となりました。	
第2年度	・運用対策の最適化の試みを推進した他、前年度にLED化が完了した照明設備を通年運用したこと、緊急事態宣言等で衣料品売場、住居関係売場の営業時間短縮があったことから、13%強の削減となりました。	
第3年度	・運用対策の最適化の試みを推進した他、第1年度にLED化が完了した照明設備を通年運用したこと、前年度から続くコロナ禍で衣料品売場、住居関係売場の営業時間短縮があったことから、15%強の削減となりました。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		運用対策の最適化、第1年度に行った照明設備のLED化、またコロナ禍による一部売場の営業時間の短縮もあり、排出量、原単位とも計画を上回る削減ができました。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		今後も運用対策の最適化、老朽化設備の高効率機器への更新など省エネ対策を進めていきます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①PDCAサイクルを行うための推進体制を整備する。 ②エネルギー使用量及びその負荷変動を管理し、過去の実績との比較及び分析を行う。 ③空調管理は区画の使用状況に応じた設備の運転時間、室内温度・湿度、換気回数、外気の有効利用を適切に設定し管理標準を見直し更新する。 ④照明設備は区画毎に調光設備及び昼光を活用すると共に過剰又は不用な点灯を無くす。 ⑤既存の設備に関しエネルギー効率や老朽化の状況等を把握・分析し、更新においてはエネルギー効率の高い機器を導入する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>・各計画項目を暫時推進し効果確認いたしました。</p>
<p>第2年度</p>	<p>①推進体制は整備済み。ただしコロナ禍によりエリア会議での経験交流は中止とした。 ②電力使用量の週報・月報を作成し、前年度より増加している場合は原因の分析を行った。 ③管理標準の見直しを実施中。ただしコロナ対策で換気量が増加し、その影響で空調負荷が増加しているため、平常時とは異なる運用になっている。 ④タイムスケジュール管理を徹底した。 ⑤老朽化した機器は随時更新し、機器選定にあたってはエネルギー効率の高さを考慮した。</p>
<p>第3年度</p>	<p>①推進体制は整備済み。ただしコロナ禍によりエリア会議での経験交流は中止とした。 ②電力使用量の週報・月報を作成し、前年度より増加している場合は原因の分析を行った。 ③管理標準の見直しを実施中。ただしコロナ対策で換気量が増加し、その影響で空調負荷が増加しているため、平常時とは異なる運用になっている。 ④タイムスケジュール管理を徹底した。 ⑤老朽化した機器は随時更新し、機器選定にあたってはエネルギー効率の高さを考慮した。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>概ね計画通りに推進しているが、空調についてはコロナ対策で換気を優先せざるをえないため、十分に実施できていない部分もある。昨今、節電要請が強まっている情勢もあるため、使用エネルギー量の削減の方法について引き続き模索していく。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	28.572kW グランツリー武蔵小杉店	平成26年設置

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	・特に無し
第1年度	・特に無し
第2年度	・特に無し
第3年度	・特に無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	・セブン&アイグループのプライベートブランド「セブンプレミアム」では、「おいしさ」「品質」「安全・安心」といった価値の追求とともに、環境への配慮も重視して商品の開発を行っています。これまでに、リサイクルPETや間伐材など環境に配慮した容器・包装を、950アイテムで採用しました。これら取り組みを継続強化します。
第1年度	・計画した取り組みを継続推進いたしました。
第2年度	・計画した取り組みを継続推進いたしました。
第3年度	・計画した取り組みを継続推進いたしました。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	18,474 t-CO ₂	17,117 t-CO ₂	16,017 t-CO ₂	15,677 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	9,808 KL	9,205 KL	8,802 KL	8,784 KL
事業所の数	6	6	6	6

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量(t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
グランツリー武蔵小杉店	川崎市中原区新丸子東3-1135-1	6,526	6,232	5,904	5,930
イトーヨーカドー川崎店	川崎市川崎区小田栄2-2-1	3,812	3,232	2,795	2,794

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量(t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
イトーヨーカドー川崎港町店	川崎市川崎区港町12-1	2,559	2,426	2,319	2,218
イトーヨーカドー新百合ヶ丘店	川崎市麻生区上麻生1-4-1	1,933	1,885	1,725	1,531
イトーヨーカドー武蔵小杉駅前店	川崎市中原区小杉町3-420	1,835	1,596	1,504	1,566
イトーヨーカドー溝ノ口店	川崎市高津区久本3-6-20	1,809	1,746	1,770	1,638